



西東京の教育

＝発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311(代)

＝編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成29年(2017年)11月1日発行 第79号

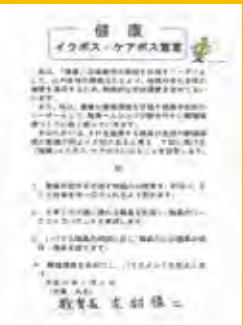
教育長就任のごあいさつ

木村 俊二氏が平成29年6月16日の市議会定例会で教育長として同意され、7月1日付で任命されました。任期は平成29年7月1日から平成30年6月30日までの1年間です。



◆教育企画課 042-438-4070

「健康」イクボス・ケアボスとは、職員のワークライフバランスを実現し、職員健康の保持・増進を図るとともに、良好な職場環境づくりを担う上司を指します。



「健康」イクボス・ケアボス宣言しました。7月3日(月)、教育長が「健康」イクボス・ケアボスを宣言しました。

そこで、第一に、「子どもの居場所づくり」を進めます。5月に開かれた「第一回西東京市総合教育会議」において、本年度の重点施策として「子どもの居場所の充実」が決定されました。そのためには、教育や福祉などが一体となって諸施策を充実するとともに、学校や家庭、地域社会にお

私は、去る7月1日付で教育長に就任しました木村俊二と申します。現在、西東京市が目指す「健康」応援都市の実現のために、微力ではありますが精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。さて、現在、児童・生徒の心と身体の健やかな成長を育む教育の充実が求められています。私はそのために、子どもたちが学校や家庭、地域社会などにおいて、個性や能力を発揮し、一人ひとりのよさが認められ、のびのびとした毎日を送ることが大切であると考えます。

そこで、第一に、「子どもの居場所づくり」を進めます。本市においても、子どもたちを含む20万人市民の皆様が、「住んでよかった」と思えるまちにするために、学校と地域が協働し、支え合いながら、共に学び、成長し、喜びを分かち合える「学校と地域が共に歩む社会づくり」を進めてまいります。

第二に、「学校と地域が共に歩む社会づくり」を進めます。かつて、子どもたちは地域共同体の中で、大人たちや友人たちと交流し、様々な生活体験、社会体験、自然体験を通じて、地域社会の一員としての自覚を深めてきました。近年、このような地域の教育機能を再構築し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えたいと、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が連携・協働する取組が重視されています。

第二に、「学校と地域が共に歩む社会づくり」を進めます。かつて、子どもたちは地域共同体の中で、大人たちや友人たちと交流し、様々な生活体験、社会体験、自然体験を通じて、地域社会の一員としての自覚を深めてきました。近年、このような地域の教育機能を再構築し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えたいと、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が連携・協働する取組が重視されています。

「西東京市教育委員会と早稲田大学高等学院との連携・協力に関する協定」を締結しました

7月20日(木)、西東京市教育委員会と早稲田大学高等学院との連携・協力に関する協定を締結しました。早稲田大学高等学院で行われた締結式には、本杉秀穂学院長と木村俊二教育長が出席し、協定書に調印しました。



インタビュールーム

「教育委員会ってなに？教育長ってどんな仕事をしているの？そんな疑問を教育長に聞いてみました！」

インタビューアール
明保中学校
高橋遥希さん(3年)
長嶺あすかさん(3年)
岡本心奈さん(2年)



※以下、敬称略

○教育長

これまでの41年間の教育に関わった経験を生かして、西東京市の学校や子どもたちのためにお役に立ちたいと思い、教育長を引き受けることにしました。

○長嶺

教育委員会と聞くと、教育のトップを想像します。実際、教育委員会はどういう仕事をしているんですか？

○岡本

文武両道という言葉がありますが、勉強と部活動を両立することについてどう思いますか。



○教育長

みなさんに直接関わりのあるのは学校の建物ですね。校舎を建てるのももちろんですが、例えば学校の中に

勉強ももちろん頑張りたいけど、勉強以外の部活動や習い事、是非そこに自分の世界を持って頑張りたい。その頑張りは、必ず将来の自分の力になると思います。

※このインタビューの全文は、市ホームページで公開しています。